



アンバランス  
利用者にも社員にも不公平

## 「良心に頼る」が解決策!?

JR他社の不正乗車問題は他人事じゃない

この記事に注目!

「今度払う」無人駅で

不正乗車相次ぐ

JR九州は良心頼み…憤りも

<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/620046/>

(西日本新聞)

JR九州ではSSS(スマート・サポート・ステーション)と銘打って、駅の無人化と遠隔システムによる旅客対応に加え、必要に応じて係員を無人駅に派遣して旅客の移動をサポートする体制を普及させている※1。今や一部地方都市に限らず、福岡県内の大都市にある一部駅にもSSSを展開しているが、この無人化をいいことに「不正乗車が横行している」との声が新聞社に寄せられているという。こうした声を基に新聞社がJR九州に取材すると、**利用者の良心が頼りだ**と言っているそうだ。

**JR東日本管内も他人事ではない。**首都圏の駅を中心に時間帯を限定、または改札口を限定して無人化を進めているが、「シャッターが開いた途端、きつぷを持たずに堂々と係員通路を突破している。でも、カメラ越しだから何もできない。」と働く仲間は声をこぼす。会社はポスターで告知をしているが効果は薄く、積極的な対策に乗り出していない。

不正を見抜く社員は

トラブルメーカー?

一方、こうした不正乗車を見抜き、しかるべき対応をとる仲間がいる。改札窓口を立てば利用者の動きに目を配り、必要に応じて声をかけて、不正乗車の抑止や摘発を懸命に続けている。しかし、**こうした取り組みをトラブルメーカー呼ばわりする管理者がいると言うのだ。**会社にかような社員を守る体制を求め、利用者にもしかるべき対応をとる旨を告知するべきではないだろうか?

団結して

不公平感の解消を目指そう

確かに、人員削減と効率化は経営上必然かもしれない。しかし、効率化で起こりうる問題に向き合い、**社員と真摯に議論しなければ「やっておしまい」**であり、利用者にも社員にも不公平感が残ってしまう。現状、現場単位では不公平感を解消することは困難だ。こうした不公平感を解消するために、**働く仲間が結集して声を上げる場所が必要**なのだ。その場所こそ、労働組合である。

参考

※1:「スマートサポートステーション」ご利用に関するご案内

<https://www.jrkyushu.co.jp/railway/>

facility/sss/

利用者の信頼は人の目！ 人と機械のバランスを  
考えて会社と議論ができるのは労働組合だけ！